

一般質問 市政を問う



亀卦川 参生 議員

問 国民健康保険は低所得者が多く加入している。今年度は、国から1700億円が低所得者対策として交付されるが、あま市への金額は。

国保証が届いていない人への対応は

市民生活部長 あま市の国保への財政支援として約1億円拡充された。財源としては、国から5260万円、県から2630万円、市の一般会計から2630万円となつてゐる。
問 全国で1700億円は、まだまだ少ないと思うが、国負担を増やすためにどのような働きかけが必要か。

市民生活部長 市長会など他の自治体と共同で、国の支援を要望していきたい。
問 国保証が届いていない人に、どのように対応していくか。
市民生活部長 住所不明の方などは現地調査を行い、保険証の渡らない人を少しでも減らしていく。
問 保険証が届いていない29世帯の中で、DVで住民票をそのままにして別のところに住んでいる

人の世帯数は。保険医療課長補佐 内訳はつかんでいない。
問 国保税滞納世帯は約2100世帯。低所得者対策をもっと強めていくことが、国民皆保険制度を守っていくことになると思うが。
市民生活部長 滞納者、特に所得の低い方への対応として、市役所にご相談いただいて分割納付になれば、短期保険証を発行する。



あま市国民健康保険被保険者証

11 議員が質問

亀卦川 参生 議員(11 ページ)
国保証が届いていない人への対応は

森 耕治 議員(12 ページ)
名古屋市高速度鉄道6号線の延伸

山内 隆久 議員(12 ページ)
木田駅周辺のまちづくり

野中 幸夫 議員(13 ページ)
子どもの貧困対策について

松下 昭憲 議員(13 ページ)
巡回バスについて

後藤 幸正 議員(14 ページ)
巡回バス運行について

橋口 紀義 議員(14 ページ)
快適な暮らしと安全・安心なまちづくり

足立 詔子 議員(15 ページ)
女性が輝く社会の確立を

八島 進 議員(15 ページ)
新あま市民病院医師数と運営について

林 正彦 議員(16 ページ)
市民病院経営について

柏原 功 議員(16 ページ)
マイナンバー制度は安全か



地下鉄(イメージ)

名古屋市高速鉄道6号線の延伸



森 耕治 議員

問 旧七宝町地内に地下鉄延伸の答申が出てから43年間たち、現段階では凍結という状況にある。リニアインパクトという言葉が飛び交うようになった昨今、このリニア

工事に便乗して、名古屋市内の稲葉地あたりまでも掘り進む話を回復させ、まず「凍結」という状況を解くことに集中していくことも、あま市のアクションではないかと思うが、現在の考えは。

市長 地下鉄案にこだわらず、地上案も含めて、県名古屋市、国に引き続き要望を出していきたい。現在は中村区、中川区、大治町、あま市が協議会に入って要望活動をしているところである。

今後は、民間の力もお借りし、官民一体となった形で要望活動をしていきたいと思っている。悲願である延伸については、実現に向けて取り組んでいきたい。

※A路線、B路線とは：運輸政策審議会答申における路線の分類で、A路線は「目標年次までに整備を推進すべき路線」、B路線は「今後整備について検討すべき路線」のこと

木田駅周辺のまちづくり



山内 隆久 議員

問 我が市西部の拠点である木田駅周辺のまちづくりについて展望は。建設産業部長 都市計画マスタープランで位置づけられた「人が集い交流

するまち」、「安全・安心で災害に強いまち」を指す。その環境整備として木田駅へのアクセス道路や雨水対策施設の整備が重点施策だと考えている。

まちの活性化については、木田郷南土地地区画整理事業など計画的な市街地整備を推進し、人口の集積を図るとともに道路整備による駅への人や車

の流れを誘導していきたい。

問 これまでの事業による成果と今後の課題は。**都市計画課長** 平成25年度までのまちづくり交付金事業で駅前広場、木田駅前線、地下式調整池、水路の暗渠化による歩道の整備を行い利便性や安全性が向上し、評価をいただいている。今後は、交通便利性のさらなる向上を図るとともに雨水対策などを推進する必要がある。

あとと考えている。

問 今後の計画は。**都市計画課長** 木田駅前線は、地元と調整を図り、計画的に進めていきたい。また、木田駅から西尾張中央道への交通ネットワークとなる北荻木田線についても、木田郷南土地地区画整理事業による道路整備に併せ進めたい。**市長** 木田駅前線については、時間がかかる事業で、財源確保の問題もあるが、南伸を必ず実現さ

せたいと考えている。



木田駅南口側



松下 昭憲 議員

問 昨年11月に、巡回バスの試行運行が始まったが、この3カ月間の利用者数、収入は。

企画財政部長 試行運行開始日から2月末までの

巡回バスについて

問 利用者数の累計は1676人で、利用者数は一日当たり38人。運賃収入額は、合計5万9200円、収支率は0・8％。

問 平成27年度及び28年度の予算額は。

企画政策課長 平成27年度の決算見込は、合計約1800万円。平成28年度予算は、合計3444万7000円。

問 利用したいが、運行

範囲が市の中央に集中し過ぎていてなどの意見がある。ルートの変更は。

企画財政部長 運行範囲については、今のルートだけでなく、さまざまな意見を聞きながら、方法を考えていきたい。

問 利用者が少ないが、バスを小型化し、白ナンバーにするなど、費用を安くできないか。

企画財政部長 車両の小型化については、現在のマイクロバスでは難しい

狭小な路地などにルート変更が可能になるメリットもある。しかしながら、これまでの運行状況の中で、同時に乗車された最多人数が9人というデータもあり、現実的には難しい。今後、いろいろ検討し、見直しの材料としたい。また、白ナンバーについては、運賃を無料にすることで可能となるが、安全面や的確な運行という観点から、引き続き、様子を見たいと

考えている。



あま市巡回バス



子どもたちの通学風景

子どもの貧困対策について



野中 幸夫 議員

問 子どもの貧困対策の推進に関する法律が成立し、自治体は教育支援、生活支援、就労支援、経済的支援をすることになっていて、市の計画は。

福祉部長 計画は策定していないが、今後研究していきたい。

問 夫婦で働いても働いても生活費、学費、税金でお金足りない、生きているのが苦しいと市民の声が届いている。市の子ども・子育て支援事業アンケートでは、教育・保育事業を「経済的理由で利用できない」が、4・5％、放課後児童クラブでは「利用料がかかる」が、3・2％にもなる。

さらに、市の次世代育成支援対策地域行動計画の中では、子どもたちに「朝食欠食などの食習慣がみられる」とされている。経済的理由で、援助が必要と認められた人たちには、就学援助の制度があるが、新入学の子どもたちは、ランドセルを買いたくても、最初に8月にしか支給されない。4月前から支給できるように貸付金制度を創設してどうか。援助が認め

られれば、貸付分を援助から差し引く、認められなければ、貸付金として1万円を10カ月で返済するなどの形ができると思うが、どうか。

学校教育課長 今後、調査研究していきたい。

問 学習支援として、大治町、名古屋市が取り組み、稲沢市でも始まる無料塾を実施する考えは。

学校教育課長 今後の研究課題と考えている。

快適な暮らしと安全・安心なまちづくり



橋口 紀義 議員

問 リニア新幹線、伊勢志摩サミット、東京オリンピック開催などの明るい話題が増え、地域も活力が戻ってきた。グローバル化に照準を当て、よ

り優れたコミュニティが取れる環境づくりが重要と考える。Wi-Fiが整備された施設の現状、今後の対応は。
企画財政部長 誰もが利用できる公衆無線LANの整備は行っていないが、情報ふれあいセンター、市民活動センターなどでは、一部の施設利用者が利用できる。
企画政策課長 今後につ

いては、七宝焼アートのヴィレッジや新庁舎などへの整備が考えられる。
問 外国人を対象とした日本語教室はあるか。
企画財政部長 日本語教室は、情報ふれあいセンターと甚目寺公民館で、あま市国際交流協会が補助を受け開設している。
問 高齢者を狙った特殊詐欺が後を絶たない。今後の対策については。
安全安心課長 市、警察、市民が連携協力し、防犯

教室や侵入盗対策の二重ロック推進運動などの啓発活動を行っていく。
問 電話の受話器に貼る特殊詐欺防止用のシールを配布しているところもある。検討しては。
安全安心課長 関係機関と相談し、研究する。
問 ゴミのポイ捨てやペットのふん害に悩む人が多い。罰則を含む条例制定を望む声があるが。
市民生活部長 調査研究していきたい。



情報ふれあいセンター



巡回バスの停留所(二ツ寺六町)

巡回バス運行について



後藤 幸正 議員

問 週3回の運行で皆さんが戸惑っているが。
企画政策課長 利用状況など広報やあま市公式ウェブサイトなどでお知らせしていく。
問 運行日や本数の改善

は考えているか。
企画財政部長 改善については、現在も市民からご意見をいただいている。今後、郵送による市民アンケートを実施し、運行形態、ルートなどの検討を進めていきたい。
問 意見を集約し、意見が多いものについては早急に改善してもらいたい。平成28年度予算では運行予算しか計上されていないが、改善があった場合どうするのか。また、以

前公共交通会議の中で、他の市町でくまなく巡回したところは失敗することが多いとの発言があったが、何をもって失敗としているのか。この運行が始まる前から何回となく、質問を重ねてきたが、交通手段がなく市民が困っているから巡回バスを始めたのではないのか。
企画政策課長 改善は平成29年度から実施する予定。何をもって失敗かとの質問については、市内

をくまなく巡回することで乗車時間が長くなること、民間事業者の衰退などが考えられる。
市長 今後も、地域の皆さんと一緒に協議し、市民のマイバスとなるよう、「和」をもって大きく育て、循環の「環」になるのが望みである。バスに乗っていただけのような形をつくっていきたい。



八島 進 議員

問 現在の医師数に関連して、①あま市民病院の必要とする医師数は、②現状の医師で治療体制に問題はないか。③看護師のほか医療スタッフに過

新あま市民病院医師数と運営について

剰負担はないか。④入院ベッド180床の稼働率は、⑤地域別患者の利用状況は。

市民病院事務局長 ①現在常勤医は15名であと5名は必要。②夜間当直医1名のため救急対応が充分でない。③看護師は93名、他の所要スタッフを含め過剰ではない。④稼働率は40%。⑤あま市が70%、大治町が約20%、

その他、清須市などから10%。

問 今後の医師採用予定は、2年後までの予定・見込みは。また、医師確保の具体的な動きは。

市民病院事務局長 現在小児科医1名採用予定でその後の見込みは立っていない。医師確保については、市長、院長含め大学医局に年3、4回訪問している。また、公募や人材紹介会社の活用をしている。

問 運営について、27年度収支見込みは。また、今後5年間の収支予定は。

市民病院事務局長 27年度経常収支2億8932万プラス（市からの負担金など10億4800万を収入に含む）。今後5年間の収支予定は、入院患者数1日平均85人、外来患者1日平均350人を見込んだ場合、純損失が毎年約1億4000万となる（収入には市からの負担金を毎年10億見込ん



市民病院



市民活動センター

女性が輝く社会の確立を



足立 詔子 議員

問 女性活躍推進法における効果的な推進について問う。①男女共同参画計画の今後の取り組みは。②特定事業主行動計画について。③審議会などの女性登用状況について。

④防災会議への女性登用は。⑤市民活動センター内への男女共同参画コーナー設置は。

企画財政部長 ①女性活躍推進法などを踏まえ、あま市の実情に合ったプランの中期見直しを予定している。②平成28年3月の策定に向け、女性職員の採用割合などの状況を把握し、現在課題を分析している。③審議会などの女性登用状況は22・45%、行政委員会委員の

女性登用状況は2・33%。今後、任命時には女性の登用に努めていく。

総務部長 ④現在、委員の中に女性はいない。防災に関する政策など女性の参画は非常に重要であり今後、積極的に取り組む。

企画財政部長 ⑤市民活動センター内に、啓発物品などを置くことまでは可能である。相談に対応する職員の配置は、現在のところ考えていない。

問 男女共同参画センターの設置は。

市長 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で地方創生を生かしながら、事業の展開をしていきたい。今後も研究を重ねていく。

問 ある世論調査の結果で、制度をよく知っているとかえた人が13%、マイナンバー制度を不安と感じる方が78%あり、無理解が不安を助長してい



柏原 功 議員

マイナンバー制度は安全か

と感じる。マイナンバーの漏えいで、個人情報報が芋づる式に漏れる不安があるが。
企画財政部長 個人情報報は、一元管理するのではなく、従来どおり各行政機関ごとの分散管理となる。一元管理ではないので、万が一漏えいしても、他の行政機関との間で遮断され、芋づる式に漏れることはない。

問 個人の番号や個人番号カードが盗まれた場合、個人情報報が悪用されるリスクは。
企画政策課長 番号を盗まれても、個人番号の利便には、顔写真付きの身分証明書の確認が必要であり、個人番号のみの利用はできない。また、カードが盗まれても、暗証番号により保護されており、数度の入力ミスで、ロック機能も働くため、悪用されることはない。

問 昨年発生した日本年金機構の個人情報流出が、この制度でも起こるか。
企画政策課長 使用する回線は、インターネットから遮断され、国、自治体のみで接続された回線なので、外部から侵入されることはない。万が一侵入されても、個人番号や特定個人情報報は暗号化された情報でネットワーク上を行き来するので、安全な通信が確保されていると認識している。



個人番号カード見本(総務省HPより)



市民病院の救急センター

市民病院経営について



林 正彦 議員

問 救急医療の受け入れ状況について。
市民病院事務局長 日勤帯については各診療科が助け合い、受け入れ100%を目指したい。夜間、休日は、当直医が1人体

制ということもあり、受け入れが十分に対応できない場合がある。
問 病院経営改善支援業務の進捗状況は。
市民病院事務局長 新病院改革プランの策定などを委託。28年度のできるだけ早い時期に議会に報告するとともに、ホームページでも公表したい。
問 一般会計からの負担金について、どう考えているか。
市民病院事務局長 病院

建設分を除いた一般会計負担は、約12億6600万円。さらに、約3億2000万円の追加補正が必要。抜本的な改革をしなければならぬと考えている。
問 今後の病院経営の考え方と、それを実行するために、各医師に対してどのような指導をしているのか。
市民病院長 市民病院を地域にしっかりと根差した医療を提供できる病院

としたい。医師をはじめとして医療従事者一人一人にしっかりと認識していただくように、意識の共有に努めてきた。
問 経営の抜本的な改革について市長の考えは。
市長 病院改革プランに基づき、経営形態の見直しを前提とした抜本的な見直しをしていく。

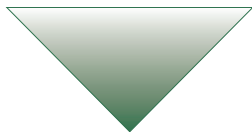
追跡 一般質問

その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を報告します。

質 問

家具の転倒防止金具取り付け推進のため、一定条件を満たした方に費用の助成を。



こうなった

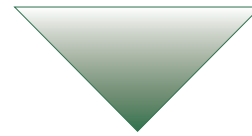
平成28年5月から要配慮者世帯を対象に、家具転倒防止器具の取り付け支援事業を実施する。また、地域の自主防災訓練などで取り付けの普及・啓発を行っている。
※詳しくは7ページをごらんください。



家具転倒防止器具

質 問

甚目寺総合福祉会館、七宝福祉総合センターなどは給茶器が撤去されたが、水分補給のために住民サービスの提供を。



こうなった

甚目寺総合福祉会館、七宝総合福祉センター、美和すみれの里では、入浴されている方が水分補給できるようにウォータークーラーを設置している。



ウォータークーラー（甚目寺総合福祉会館）